



夢を育てる

就労移行支援



自分を育てる

就労継続支援B型

社会福祉法人たまん福祉会

就労支援センターたまん

Employment Support

# 学んで 成長できる 就労施設

就労支援センターたまんは、障がい者みなさまの就職サポートを行う施設です。

「たまん」では利用者の成長を目的として、以下3種類のコースを用意しています。

- ・一般就労を目指す【就労移行支援コース】
- ・施設内での活動を通して能力の向上を図る【就労継続支援B型コース】
- ・就労移行やB型などを利用後に一般就労の定着を図る【就労定着支援コース】

就労支援のための3つのコースを実施することで、ご希望にあった就職サポートを行い、「利用者様」「ご家族」「企業」皆様の幸せの実現を専門のスタッフにより全力でお手伝いさせていただきます。





01

### 給料を受け取りながら 就労への成長ができる

班ごとに仕事をして、給料(工賃)をもらいながら、就職に必要な技術を身につけたり、企業様から受注した仕事を実際に制作～納品することで働くことの喜びを体験することができます。また、企業様も私たちが制作した商品をお客様にお届けするため、ミスの無いよう制作することへの大事さなどの意味を一から学びます。

02



### 20年以上続く「たまん」が 選ばれ続ける理由！

### 専門的で経験豊富な スタッフの寄り添った支援

「たまん」は利用者が安心して来所できるように、スタッフが一人ひとりの能力や特性を把握し、個人に合わせたコミュニケーションをとることで、寄り添った信頼関係を構築します。現在では社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士が法人内に配属しており、相互に連携し合った支援に取り組んでいます。



話しやすく、面倒見のいい  
スタッフばかりです！



03

### 工賃向上へ力を入れ 県内トップクラスの工賃を支給

一般就労が困難な利用者にも少しでも生活の質を良くしてもらいたうため、「たまん」では工賃向上の会議(生産活動検討会)を重ねて、毎年平均工賃を向上することに成功し、沖縄県の平均工賃を大幅に上回っております。

# 就労支援 センター たまんの魅力



04

### 県内最大級の定員数で 多くの仲間と楽しく成長

「たまん」は定員60名と沖縄県で最大級の定員数で、幅広いニーズに対応できる環境が整っており、一人ひとりに合わせたサポートで安心して就労を目指していただけます。多くの利用者数を活かして、集団活動訓練を実施することで一般社会に必要な、人との距離感や人間関係を学ぶことができます。

### 就労支援と就労定着支援で 高い就職率と定着率を実現

「たまん」では現状と希望を踏まえて目標達成に向けたプログラムを作成します。また、就労支援を通して一般就労を進めており、就労後も就労定着支援で働きやすい環境づくりを行い、継続して就労できるようにサポートいたします。

お任せ  
ください！



05



06

### 働くだけではなく、楽しいイベントも充実！

一年を通して様々なイベントを用意しています。また、月に数回、土曜日に余暇活動支援として、ボウリングやカラオケ、映画鑑賞、買い物学習などの余暇活動支援を行っています。「休日どこかへ連れていきたいが、時間がない」「一人では連れて行くことができない」「みんなと一緒に楽しく買い物をさせたい」などのご家族や利用者の声に応えています。



イベントや  
余暇活動を通じて  
行動の可能性が  
広がります！

### 元気に成長できるように 給食もこだわっています！

「たまん」の給食は、栄養士による栄養管理のもとに、施設内の厨房で調理された温かい料理が提供されます。献立表を作成し、毎日違うメニューでお食事を楽しめます。(栄養士1名、調理員3名)



07

# TAMAN HISTORY 「たまん」の歴史



2001年(平成13年)「知的障がい者授産施設たまん」開所

バブル崩壊後の1990年以降は、雇用に関する状況が特に厳しく、さらに糸満市内には障がい者の授産施設がなかったので、早急な施設整備が望まれていました。2001年9月1日に社会福祉法人設立認可の知的障害者授産施設として「たまん」が開所しました。



「たまん」の前身である「糸満福祉共同作業所」



2004年(平成16年)「第1回たまん祭」開催



「障害者自立支援法」の施行に伴い「就労移行支援事業」と「就労継続支援B型事業」を展開することで、「就労支援施設」へと移行しました。これにより、利用者の自立と社会進出の機会を大きく広げることができ、地域社会全体の福祉レベルが向上することに繋がりました。また、利用者もスタッフも増員し、福祉施設としての規模が拡大しました。



2008年(平成20年)「知的障がい者授産施設」から「就労支援施設」へ移行



2015年(平成27年)「グループホーム」開所



2015年(平成27年)「ココカラ保育園」開所



2018年(平成30年)「ココイク」開所



2019年(平成31年)「陽だまり」受託



2022年(令和4年)「ココイロ」開所

「たまん」の歴史は20年以上となり、福祉制度も創立時の「措置制度」から現在の「障害者総合支援法」へと度重なる制度変更がありました。適応するために事業内容や運営方法を柔軟に変更し、対応力を培ってきました。また、利用者に対してもこれまで様々な支援経験を多く持ち、障がいの特性や環境に応じた配慮や対応が可能であり、利用者やその家族から多くの信頼を得てきました。長い歴史の中で地域との繋がりも厚く、福祉機関、行政機関、医療機関など多くの団体と連携を取り、より良い福祉サービスを提供しております。「たまん」グループでは0歳から一般就労、就労後までの支援を受けられる切れ目のない一貫した支援を提供しており、幅広い福祉サービスを包括的な支援を通じて、地域社会での自立と成長を強力にサポートいたします。

# TAMAN GROUP たまグループ



## こども発達支援センター「ココイク」

県内初の福祉型児童発達支援センターとして、地域の中核機関となり、相談支援や専門的な療育支援の提供を行っています。療育支援クラスや親子通園クラスに分かれ、「ココイク」の名所由来のごとく、いつでも気軽に足を運べる場所となり、求められる機関であることを目指しています。「ココイク」では公認心理士、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士などの専門スタッフが日常的に支援しており、「たまん」の利用者のメンタルケアや、障がいに関するサポートについてのアドバイスや意見交換を行います。また、「たまん」の就労継続支援B型の作業について、適切かどうか指導を行い、作業の適切性が維持されています。



## デイサービス「じぶんみらいココイロ」

主に中学生・高校生を療育支援の対象とし、社会性、ビジネスマナー、実践実習等、就職に向けた準備を行い、楽しみながら就職に対する意識を修得していきます。

## 就労生活支援センター「ココイロ」

就労定着支援として、企業等との会議の場所や就労訓練、ビジネスマナー等を行える会議室を用意しています。企業や一般就労者の相談だけでなく、企業に対して障がい者雇用の普及活動なども行います。

「たまん」の就労移行支援の利用者の中には、中学生・高校生から「じぶんみらいココイロ」を利用していた方もいるので、障がいのことや性格などを把握した状態で効率的に就労移行訓練を行うことができます。



## 相談支援センター「たまん」

障がい者やそのご家族が生活などに関して困ったこと、悩んでいることなどをご相談いただき、経験豊富な相談支援専門員が福祉サービスの利用援助や自立生活の支援などを行います。

## 糸満市基幹相談支援センター・地域活動支援センター「陽だまり」

障がい者の地域生活支援の促進を図ることを目的として、「創作的・生産的活動の場」、「憩い・交流の場」、「ボランティアの育成」の3事業を基に利用者一人ひとりの希望に合った活動をサポートします。

地域活動支援センター「陽だまり」には障がいを持った「たまん」のスタッフもピアサポーターとして勤務しており、障がい者の方へ寄り添った支援を行っています。



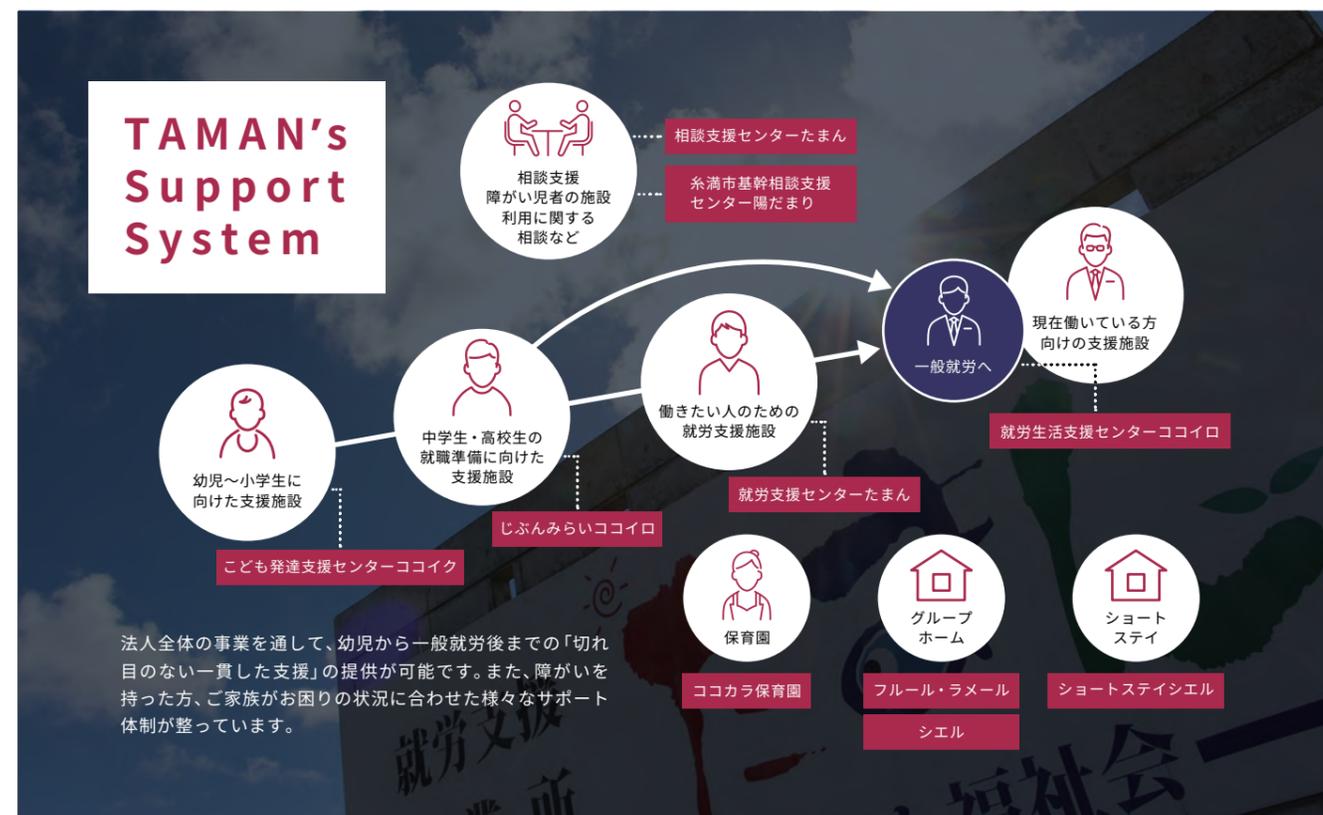
## グループホーム「フルール・ショートステイ「シエル」

自立した生活を送りたい方、家庭の事情で一人暮らしをする方などのために家庭に近い環境で安心・安定した生活を送れる場所です。夜間を含め24時間体制でスタッフを配置しており、安心安全に過ごす事ができます。グループホームには「たまん」の利用者や「たまん」から就労した方が利用しており、慣れ親しんだ仲間と安心して過ごすことができます。また、直接「たまん」へ通所しているのも、もしトラブルがあっても迅速に対応することができます。



## 「ココカラ保育園」

新制度の小規模保育事業所として開所した「ココカラ保育園」は、0歳児から2歳児までのお子さんの「こころとからだ」を大切に育む、えがおいっぱい保育園です。こどもの利益を尊重し、一人ひとりの発達を保障する環境を用意し、こどもが現在(いま)を幸せに生活し、未来(あす)を生きる力を育て、保護者からも信頼され地域に愛される保育園をめざします。





# 就労移行支援コース

仕事、ビジネスマナーなどの就労訓練、求職活動、企業実習などを行い、一般就労を目指します

## 一人ひとりに合った密なプログラム作成とチーム体制

「たまん」では、サービス開始時に担当スタッフおよびサービス管理責任者とご本人、ご家族を交え、担当者会議を開く中で、ご本人とご家族のニーズの聞き取りと整理を行い、目標達成に向けた一人ひとりに合ったプログラムを作成して訓練を開始していきます。このプログラムは担当者が作成しますが、ミーティングや支援ソフトなどで共有しており、それによりスタッフ全体で一貫した支援を提供しています。また、ご本人の課題の整理と明確化を図るため、プログラムとは別に就労チェックリストを利用し、その結果をご本人とご家族、担当相談員に情報開示し、共有することによって、チーム一体として密に連携が取れる支援体制づくりを心がけています。



## 就労の必要性について

「たまん」は一般就労に力を入れていますが、福祉的就労を否定するものではありません。生きていくうえで必要最低限のお金を得る方法は働く以外にもあります。では、なぜ就労する必要があるのか考えてみましょう。

### 成長と可能性の拡大

就労することで、自己肯定感が高まり、大きく成長につながります。成長することで、できることが増えて色々なことにチャレンジできる可能性が拡大します。



### 社会とのつながり

就労は社会とのつながりを持つ大切な手段です。社会とのつながりがあれば、いざという時に地域のサポートを得ることができ、ご家族も安心できます。

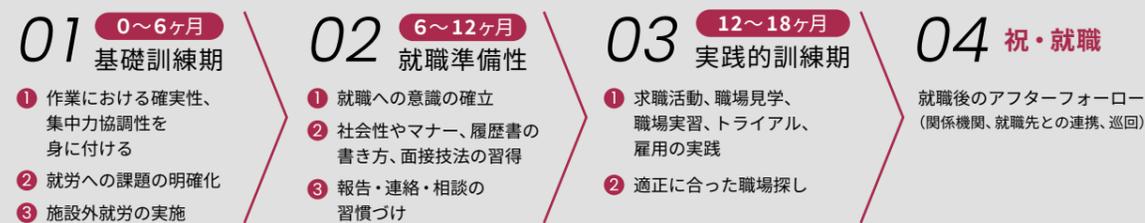


### 社会全体の発展

障がい者が一般企業で働くということは、社会で活躍できることが認識され、世間の理解が深まり、雇用も増えることで社会全体の発展にもつながります。

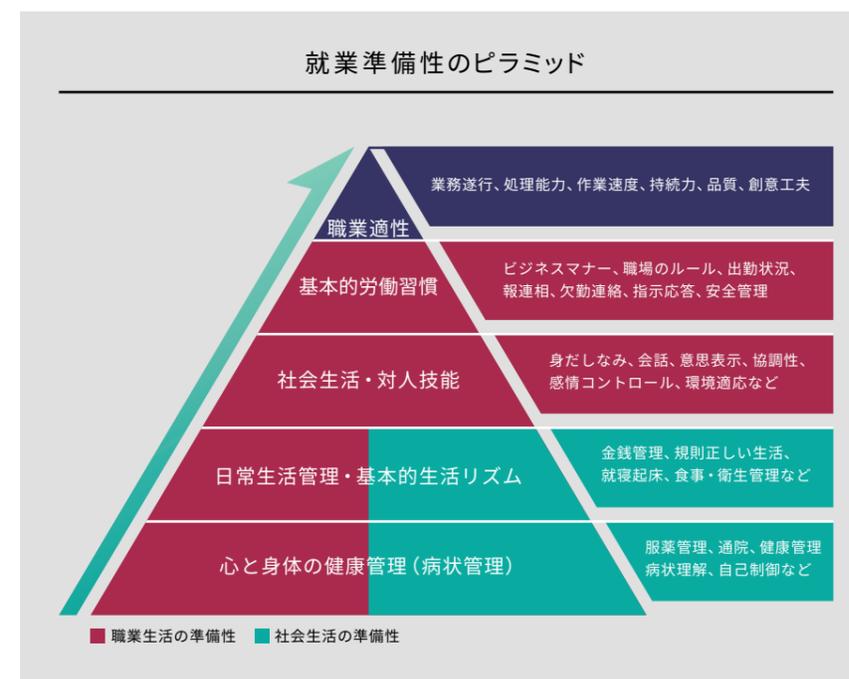


## ■ 就労移行訓練の流れ



## ■ 就業準備性とは

「就業準備性」とは、一般就労において健常者と共に仕事を行う上で確実に求められる、「挨拶」「報告、連絡、相談」「身だしなみ」「時間の意識」などの基本的なマナーを身に着けることです。「臨機応変さや、物事を客観視できる力」を目標に日々訓練を行っております。また、作業訓練の中で「利用者同士で助け合う協調性」や「感謝の気持ち」「気分が左右されない、時には我慢を要するメンタル面の強化」なども実践を通して学べるよう支援しています。



## Check! //

# 就労移行支援の実績

「たまん」では就労移行支援を強く推進しており、数多くの利用者を一般就労へと繋げてきました。ハローワークや生活支援センター等、関係機関とも連携を図り、利用者の特性や希望に応じた職種の企業見学と職場体験実習を実施しております。より一般就労に近い環境の中で自身の適性と課題を把握しステップアップに繋げ「就職」という夢の実現に向け支援しています。



これまでの一般就労者は  
県内最多の

**59**人

(令和6年現在)



# トライ班

## 一般就労を目指して 就労移行訓練を行い 日々成長し続けます

就労移行支援事業であるトライ班は、2年間の限られた期間で一般就労を目的とし、身だしなみ、規則正しい生活、挨拶や話し方などのコミュニケーションスキルなど基本的な知識や習慣から、通勤方法やビジネスマナー、企業実習など、本格的な就労訓練まで幅広く支援を行います。また、集団活動訓練の一貫として、他の班と混合でダンボール組み立て、資源回収、障害者職業センターへの清掃委託業務などの様々な生産活動訓練を行い、就労への準備を行います。就労移行支援は特別支援学校から利用する方が多いため、比較的若い利用者が多く、コミュニケーションを図る事が好きな方が多いのでにぎやかな班です。今後も利用者の成長のために、様々な就労移行訓練を推進します。



### Check!!

## 豊富な種類の就労移行訓練

「たまん」の就労移行訓練では、身だしなみや挨拶の仕方など基本的なスキルから、求人票の見方や検索方法、交通機関の使い方など就労に必要な知識も学ぶことができます。施設内の活動だけではなく、銀行や警察署など公共機関や行政機関などの見学を体験することで、社会の仕組みや重要性を実感することができます。「たまん」では就労移行訓練を通じて、様々な経験をしてもらうことで自信を付けてもらい、一般就労へチャレンジすることへ繋げています。



# 就労移行訓練の様子

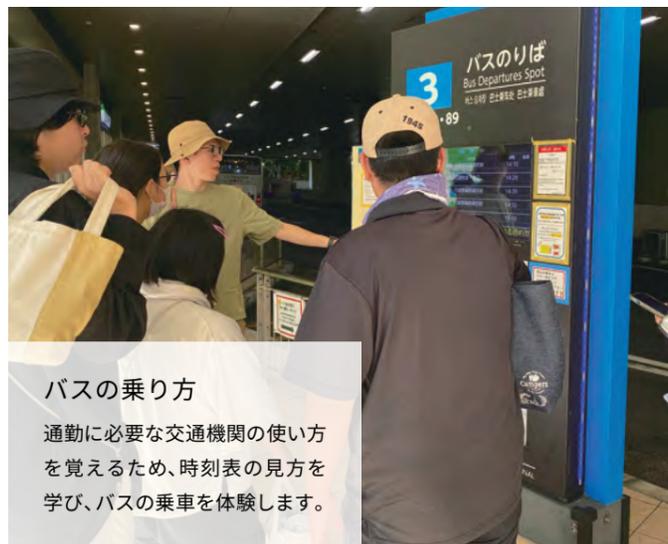
就労移行訓練では就労に向けて施設内外での学習や、公共施設や関係機関を利用して本格的な実習を行います。



**求人情報の探し方**  
求人票の見方や内容について勉強し、実際の求人情報を検索して調べ方を覚えます。



**オフィスソフトの使い方**  
ワードやエクセルの基本的な操作方法や計算式で効率的な金額表の作り方を学びます。



**バスの乗り方**  
通勤に必要な交通機関の使い方を覚えるため、時刻表の見方を学び、バスの乗車を体験します。



**面接訓練**  
企業での就職面接を想定して志望理由などの本格的な質疑応答を行います。



**手先の訓練**  
指には脳につながる神経が多く存在するため、折り紙で集中力や記憶力を高めます。



**社会科見学**  
銀行や警察署など施設を見学することで経済や社会の仕組みを学びます。



**お仕事体験学習**  
企業の説明を聞いたり、実際に業務を体験することで仕事に対する理解を深めます。





# 就労定着支援コース

継続して就労できるように就労定着支援として支援員がサポートします

## 就労後に定着できるかが重要

就労してしばらく経つと新しい生活で悩みを抱え、解決することができずにそのまま辞めてしまう方も珍しくありません。また、就職者だけではなく雇用者にも障がい者を雇う中で課題を抱えてしまい、改善できずにやむを得ず解雇してしまうことがあります。このように就労を継続するのは大きな課題となっています。

「たまん」ではそんな課題に対して支援員がサポートを行い、働きやすい環境づくりを支援する就労定着支援を行っています。



### 就労者の悩み

- ・人間関係が上手くいかない
- ・仕事が難しく苦勞している
- ・朝起きれず遅刻が増えている
- ・ストレスで体調を崩してしまう



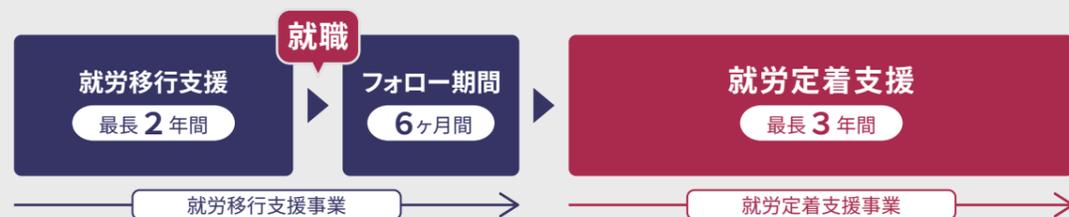
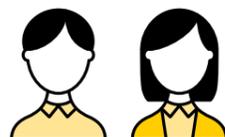
### 雇用者の悩み

- ・指示通りに動いてくれない
- ・ミスが多くて困っている
- ・お客さまとトラブルになった
- ・遅刻や無断欠勤が多い



### 支援員がサポート

- ・支援員が定期的に電話や面談で状況確認を行い、就労をサポートします。
- ・就労者だけではなく雇用先にも連絡を取り、お互いの状況をヒアリングして職場環境の改善や合理的配慮の実施を促します。
- ・医療機関や福祉機関と連携して、利用者の体調管理をサポートします。



## 「たまん」から就労した利用者たちのコメント

就労移行支援を受けて「たまん」から羽ばたいた利用者たちのコメントです。ここでは一部の方をご紹介します。

就労先は保育園、病院、介護福祉施設、ホテルリゾート、食品加工会社、ダンボール加工会社など様々な企業へ就労されています。また、就労が決まればそこで支援が終わりという訳ではありません。就労後の利用者の支援はもちろんですが、就労先との連携、相談も行っていますので安心して就労へトライできます。



私は保育園で園児たちの見守り補助をしています。「たまん」の就労移行訓練を経て一般就労をすることができました。「たまん」で報告・連絡・相談の訓練を頑張り、現在の仕事でも継続して反映しています。お給料をもらったら、家族と買い物したり外食するのが楽しみです。就労を目指している皆さんも訓練を頑張ってください。応援しています！

N・Sさん



私は病院でフロアの清掃や消毒の仕事をしています。就労ができたのは「たまん」の就労移行訓練を頑張ったからだと思います。移行訓練では、支援員さんから掃除訓練や報告・連絡・相談の大切さなど、社会人のマナーをたくさん教えていただきました。今では様々な仕事を任せられるまでに成長できました。ありがとうございました。

K・Sさん



私はスポーツ用品店で清掃や洋服などの品出しの仕事をしています。一般就労では時間を守ることや、仕事を集中して頑張ることなど働く大変さを実感しますが、支援員さんからアドバイスをいただき継続できています。お給料でご褒美を買ったり、旅行に行ったりできるのはとても嬉しいです。

K・Nさん

## Check!!

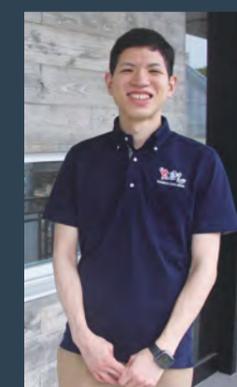
### 資格を持つ支援員が優しくサポート

私は「たまん」で就労定着支援員として、障害を持たれた方でも安定して職場に定着していけるように、利用者とは就労先との間を取り持つ仕事をしております。

利用者はもちろん、就労先への援助も大切なお仕事となっております。就労先の企業によっては、初めて障がい者を雇用するため、どのように接すればよいか、どのような仕事を願えばよいかなど、不安なことが少なからず出てきます。

その不安を取り除くために、職場適応援助者(ジョブコーチ)の資格を活かし、就労先と利用者にとって働きやすい環境づくりを行うことで、誰でも働き続けられるような社会を目指していけたらと考えています。

「たまん」には、私以外にも様々な資格や経験豊富なスタッフがおりますので、皆さま安心して支援を受けています。



ジョブコーチ 社会福祉士 金城光司



## 就労継続支援B型コース

「たまん」内の仕事を通じて知識や能力の向上を目指します。こちらのコースからも就職が可能です

### 就労継続支援B型コースとは？

就労継続支援B型コースは、一般就労に不安を感じている方、就労移行支援を利用して就職できなかった方など、一般就労が難しい方に対してスタッフがサポートしながら働く場所を提供するサービスです。本人の特性やペース、体力などに合わせて仕事（生産活動訓練）を行い、能力などによって給料（工賃）を支給いたします。就労継続支援B型コースの活動を通して本人のスキルアップを図り、社会参加と自立を支援に繋がるよう支援しています。



### 就労継続支援B型コースの加入対象者

就労継続支援B型コースを利用するには、いずれかの条件を満たしている必要があります。また、定員が60名となりますので、利用をご希望される場合はご確認ください。



※1 「たまん」以外の就労移行支援事業でも対象です。  
 ※2 勤務年数に関わらず、一度でも一般企業での就労経験がある方になります。

### 就労継続支援B型コースの班について

生産活動訓練にはオリジナルプリントTシャツ制作や受託作業を行う「サン班」と、農園芸作業を行う「大地班」の2班があり、本人の希望や計画書に沿って班の振り分けを決定します。

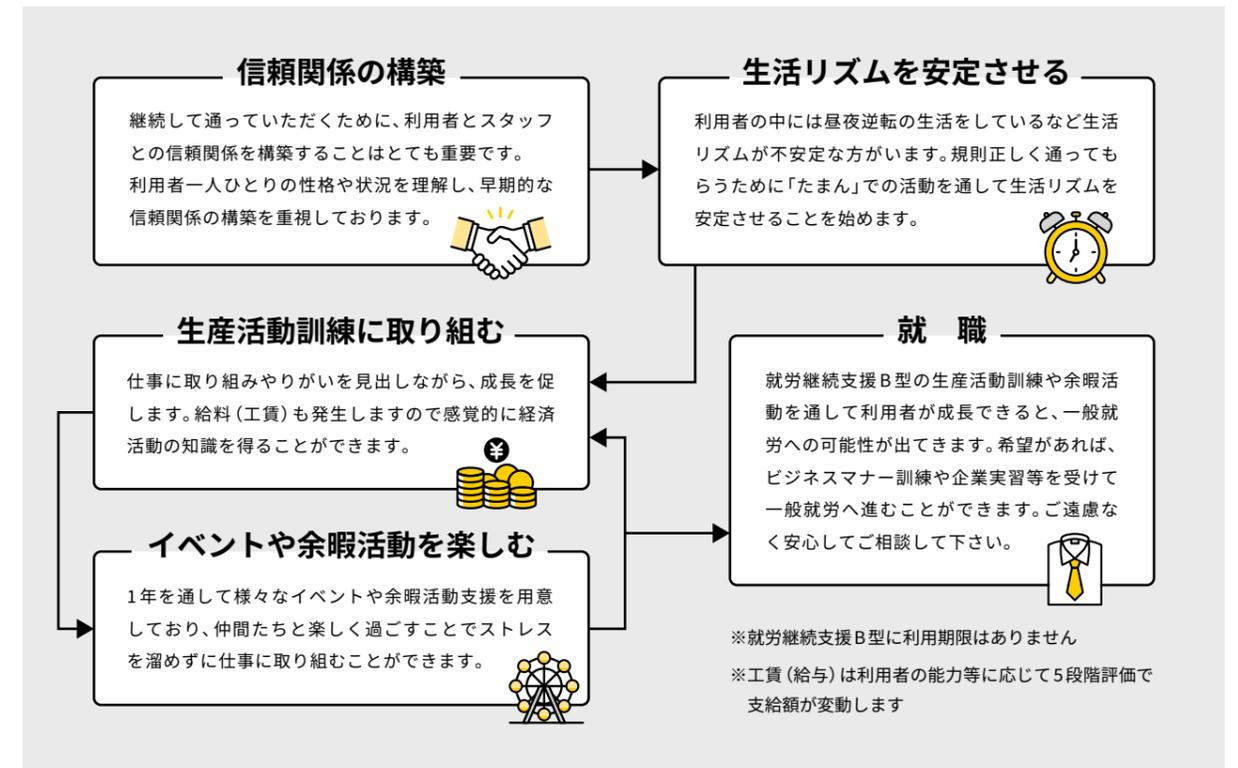


▲ 制作したTシャツを梱包する「サン班」



▲ 花苗の種を植えている「大地班」

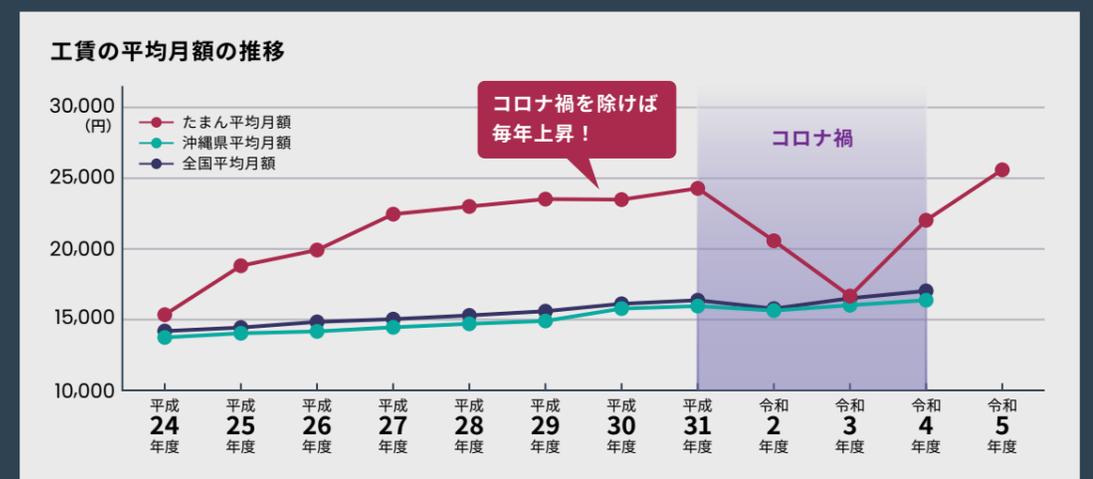
## 「たまん」の支援方法の流れ



## Check!!

## 「たまん」は県内トップクラスの工賃を支給！

利用者の生活の質を良くしてもらうために「たまん」では工賃向上のための会議（生産活動検討会）を重ねています。利用者一人ひとりの「工賃目標額」を設定し、目標達成のためには売上がどの程度あれば良いのか、そのために何をするのか等を検討しています。このような活動を通し、年々順調に収入向上が図られているため、「たまん」では沖縄県平均を大きく上回る工賃額を支給しております。



# サ班



## 高い作業意欲の中で 仕事をしながら成長 できます！

就労継続支援B型のサン班は、オリジナルプリントTシャツ、タオルの制作や印刷会社や観光土産品店等から受託作業の仕事をを行います。外部からの依頼となるので高い品質が求められますが、作業意欲と能力向上に繋がり、給料アップを実現するため、利用者、スタッフが一丸となって仕事に取り組みます。中でもオリジナルプリントTシャツ、タオル、名刺等のプリント部門は、美術系専門のデザイナースタッフを配置することで、個人様はもちろん、学校様、病院様、企業様や団体様など、たくさんの方々からご注文を頂いており、それらの利益はすべて利用者へのお給料となっております。

これからも利用者の成長のために、試行錯誤しながら様々な展開を実施していきます。



### Check!!

Tシャツプリント  
サービス

# 福プリ



「たまん」では開所からTシャツ制作サービスを行っており、現在では「福プリ」というサービスにカタチを変えました。「福プリ」とは、プリント注文＝福祉に参加するという新しい価値を提供するサービスです。

手描きのイラストからでも、専門デザイナーがオリジナルプリントTシャツを制作いたします。ご注文いただいたプリント売上から得られた利益は、全て「たまん」で働く障がいを持った方々のお給料になります。

福プリは、お客様のご注文ひとつひとつが社会貢献につながる、新しい形のサービスとなります。



ご注文は  
こちらから！





# 大地班

## 広大な自然のなかで 栽培などの生産活動 を通じて成長します

就労継続支援B型の大地班では“だいず若葉”の栽培を主とし、種蒔きから収穫まで全て利用者の手で行われております。他にも鉄骨ビニールハウス内で花苗、野菜などを栽培しており、地域の方々や「ファーマーズマーケットいとまん」などで販売や陳列を行っています。花苗は、利用者が一粒ひとつぶ種を蒔き、大切に栽培管理を行い“施設内販売”や“無人販売”を行うことで地域の皆様からも大変ご好評をいただいておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

その他、企業に出向いて行う施設外就労や、県道沿いの草刈り作業などの公共事業も行っています。

花苗や野菜を栽培する喜びを感じながら、生産活動を通じて健康的にマイペースに成長することができます。



### Check!!

## 「たまん」のオリジナル商品 だいず若葉



「たまん」はオリジナル商品である「大豆若葉」（だいず若葉：商標登録）を栽培しており、ピーンリーフとも呼ばれ大豆を発芽・緑化させ、双葉が開く前に収穫した幼芽のことです。収穫された「大豆若葉」はホテルや式場、フレンチレストランなどで高級食材として使用されたり、最寄りの道の駅（ファーマーズ）や青果屋、卸業者へ出荷販売をしています。個人様でも購入可能ですので、ぜひ一度ご賞味ください。



# ご利用までの流れ

## 01 「たまん」の見学

事業所は糸満市内でも数多くあり、それぞれ特徴も異なります。いろいろな事業所を見学して、本人が一番合った事業所を選択しましょう。



## 02 利用の相談

利用を希望する方は、お住まいの市町村または相談支援事業者にご相談します。申請前のご相談や計画書の作成、サービス事業者との連絡調整などを行います。



## 03 サービス利用の申請

必要書類を用意したらお住まいの市町村にサービス利用の申請を行います。本人の申請が難しい場合は、ご家族の方でも申請を行うことが可能です。



## 04 市町村の審査

市町村から現在の障がいの事や生活状況などの調査を受けて、「たまん」のサービスを受けられるのかどうかを審査します。



## 05 給付決定

市町村は審査後、サービス利用の給付決定を行い、利用者に対して受給者証を発行して市町村より送付されます。



## 06 利用規約

受給者証がお手元に届いたら、「たまん」との利用契約を交わします。利用契約時にサービスの説明や送迎サービスの利用の有無などを確認します。



## 07 サービス利用開始



### 利用料金について

利用料は原則としてサービス提供費用の1割となりますが、所得に応じて負担上限額が設定されているほか、利用者本人の収入状況等に応じて、負担額の軽減措置が設けられています。利用者本人の収入状況で判断しますので、現在ほとんどの方はご負担ありません。(※給食費別)

### 利用料金お支払いの流れ

#### お支払い

「たまん」のサービスを利用すると、翌月に利用者負担額を請求しますので、「たまん」へお支払いします。

#### 市町村へ給付費請求

「たまん」は利用者のお住まいの市町村へ、サービス利用の際の費用(施設訓練等給付費)を請求します。

#### 代理受領

市町村は、利用者が利用したサービスの費用を「たまん」へお支払いします。(代理受領)

# 「たまん」で過ごす1日

8:30～9:00

## 無料送迎バスや徒歩で出勤



無料送迎バスは、現在7台で運行運行しており、糸満市内であればどこでも乗車と降車ができます。糸満市外の送迎もご相談ください。現在の利用者は、糸満市、豊見城市、南城市、八重瀬町から通所しています。



9:00～9:30

## 1日の始まりはラジオ体操



「たまん」の朝は、利用者・職員一同揃ってラジオ体操から始まります。利用者自治会のメンバーが元気な声掛けをすることで健康的で気持ちの良い1日がスタートします。 ※天候によって中止となる場合があります



9:30～12:00

## 各班に分かれて活動開始



「サン班」「大地班」は一般企業やお客様から注文・仕事を受け、利用者の個々に適した生産活動を行います。無理のないように途中で休憩をはさみます。「トライ班」は一般就労に向けての就労移行訓練を行います。



12:00～13:00

## 栄養満点の給食タイム



栄養士による栄養管理のもと、「たまん」の厨房内で調理された温かい料理が提供されます。献立表を作成し、毎日違うメニューでお食事を楽しめます。給食の時間も支援員がサポートするので安心です。

※給食費は1食あたり310円となります



13:00～15:30

## 午後の活動開始



「サン班」「大地班」は午前と同じく生産活動に入ります。「トライ班」は就労後の集団での仕事に慣れるために、作業訓練として他の班に混ぜられて生産活動を行います。



15:30～16:00

## 清掃活動と帰宅準備



仕事の片付けを行い、全員で各持ち場を清掃します。各自着替えて退勤します。送迎バスでは乗り逃しがないように支援員で点呼をとり、16:00には出発します。



# TAMAN EVENT 「たまん」の年間イベント



入所式



ピクニック



ゆいフェスティバル



ゆうあいスポーツ大会



トリムマラソン



健康診断



利用者忘年会



バーベキュー



もちつき大会

4月	入所式 ピクニック スポレク大会	
5月	余暇活動支援	
6月	余暇活動支援	
7月	余暇活動支援 大掃除	
8月	余暇活動支援	
9月	余暇活動支援	
10月	たまん祭 余暇活動支援 ゆうあいスポーツ大会	
11月	余暇活動支援 健康診断 バーベキュー	
12月	ゆいフェスティバル 利用者忘年会 大掃除	
1月	成人式 もちつき大会 家族会新年会	
2月	余暇活動支援	
3月	余暇活動支援 トリムマラソン	

# TAMAN FACILITY 「たまん」の施設

施設外観



1階作業室



食堂



ビニールハウス



2階作業室



休憩室



展示室

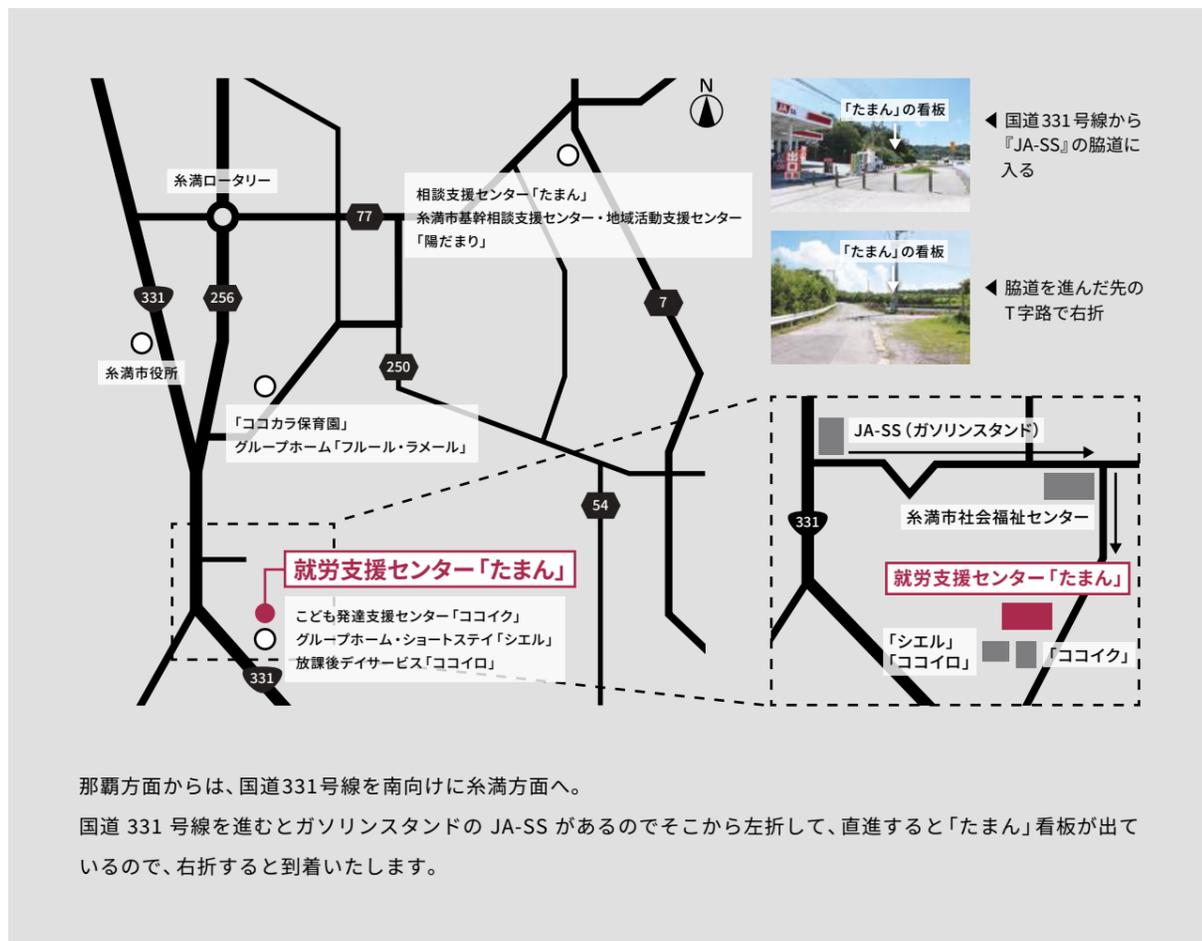


相談室





# TAMAN ACCESS 「たまん」へのアクセス



## 社会福祉法人たまん福祉会

### 就労支援センターたまん

〒901-0362 沖縄県糸満市字真栄里 857 番地  
 Tel.098-995-1992 Fax.098-995-1310

**利用日時** 月曜日～金曜日 午前 8:30～午後 5:30  
**休館日** 土日、祝祭日及び 12月29日～1月3日

### こども発達支援センターココイク

〒901-0362 沖縄県糸満市字真栄里 860 番地の 6  
 Tel.098-992-5519 Fax.098-992-5515

**利用日時** 月曜日～金曜日 午前 8:30～午後 5:30  
**休館日** 土日、祝祭日及び 12月31日～1月3日

### じぶんみらいココイロ (中・高生放課後等デイサービス)

### 就労生活支援センターココイロ (就労定着支援)

〒901-0362 沖縄県糸満市字真栄里 860 番地の 5  
 Tel.098-995-8321 Fax.098-995-8323

**利用日時** 月曜日～金曜日  
**休館日** 土日、祝祭日及び 12月29日～1月3日

### ココカラ保育園

〒901-0362 沖縄県糸満市字真栄里 1420 番地の 1  
 Tel.098-996-2418 Fax.098-996-2419

**利用日時** 午前 7:00～午後 7:00  
**休館日** 日、祝祭日及び 12月29日～1月3日

### 相談支援センターたまん

〒901-0315 沖縄県糸満市照屋 1221 番地の 1 (2 階)  
 Tel.098-840-8468 Fax.098-840-8469

**利用日時** 月曜日～金曜日 午前 8:30～午後 5:30  
**休館日** 土日、祝祭日及び 12月29日～1月3日

### 糸満市基幹相談支援センター・地域活動支援センター陽だまり

〒901-0315 沖縄県糸満市照屋 1221 番地の 1 (2 階)  
 Tel.098-840-8468 Fax.098-840-8469

**利用日時** 月曜日～金曜日 午前 8:30～午後 5:30  
**休館日** 土日、祝祭日及び 12月29日～1月3日

### グループホームフルール・ラメール

〒901-0362 沖縄県糸満市字真栄里 1420 番地の 1 (2・3 階)  
 Tel.098-996-2492 Fax.098-996-2493

**利用日時** 午後 3:00～午前 9:30  
**休館日** 無し

### グループホームシエル・ショートステイシエル

〒901-0362 沖縄県糸満市字真栄里 860 番地の 5 (2 階)  
 Tel.098-995-1317 Fax.098-995-8323

**利用日時** 午後 3:00～午前 9:30  
**休館日** 無し

